

事 業 名	公共交通対策事業	新規又は継続
尹 未 石		新規・継続
歳出予算科目	2款1項4目	
担当課	政策財政課	

1. 予算の状況(千円)

令和4年度	令和5年度		左 の 財	源内訳	
当初予算	当初予算	国県支出金	地方債	その他	一般財源
162, 519	147, 188	20,000		38, 866	88, 322

2. 趣 旨

まちなか交通広場を拠点として、地域における公共交通の確保及び利便性・効率性の向 上を図ります。

3. 概 要

(1) まちなか交通広場維持管理

15,621 千円

交通ネットワークの充実に向け、まちなか交通広場の維持・管理を行います。

(2) 市街地循環バス等の運行

71,338千円

中心市街地での回遊性や利便性の向上、郊外部と市街地間のアクセス向上を目的に、 市街地循環バス及び西地区シャトルバスを運行します。

①市街地循環バス 16 便運行(4ルート×4便 夕方時間帯に4便増)

②西地区シャトルバス 6便運行(3往復 昼時間帯に2便増)

(3) シャトルバス実証運行【新規】

5,811 千円

公共交通の空白地域において、それぞれの特性に応じた公共交通体系の構築に向け、 地元との協議・検討の上、実証運行を行います。

(4) 予約制乗合タクシーの運行

11, 189 千円

登録者の予約に応じて、市内4地区から中心市街地まで運行します。

- ・6 便運行(市街地へ向かう便を2 便増)
- (5) デマンド交通市民力支援事業補助(公共交通空白地有償運送事業) 2,399 千円 旧十和田湖町地域において、有償運送事業を実施するNPO法人に運行経費の一部を 補助します。また、冬期のみ運行していた休屋〜奥入瀬渓流館間について通年で運行し ます。
- (6) 生活交通路線維持対策

40,830千円

公共交通の維持を目的に、路線バス運行事業者に対し運行欠損額の一部を補助します。

4. その他

当該事業は、県補助事業である「電源立地地域対策交付金」及び「地域振興基金」を活 用し、実施します。